

一般社団法人経営情報学会 2021年度年次大会 2021年6月13日(日) オンライン開催

柿原正郎 (かきはら まさお)
グーグル合同会社

1. 開催概要

日程：2021年6月13日(日) 午後1時～(仮)
大会委員長：妹尾大(東京工業大学, 経営情報学会
会長)
実行委員長：柿原正郎(グーグル合同会社)
場所：オンライン開催

2. 「新しい普通」継続中

この原稿を書いている2021年2月2日時点において、1都2府8県において新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言が出されており、ちょうど先ほど菅総理大臣が、栃木県を除く10都道府県にて緊急事態宣言を1カ月延長するという発表を行いました。皆さんがこの原稿をお読みになる頃には、緊急事態宣言が解除されていることを切に願うばかりです。

昨年からの新型コロナ拡大を受けて、なかなか気分が晴れない状況が続いているものの、良くも悪くも私たちの生活環境が否応なく大きく変わったことも事実で、その中には、これまでなかなか実現できなかったような制度改革や組織改革が一気に進んだ面もありました。例えば、テレワークの必要性・重要性は、商用インターネットサービスが広がり始めた1990年代から広く議論はされていたものの、企業での実際の導入はずっと限定だったわけですが、それが今回多くの企業が部分的にでもテレワークの導入に踏み切りました。その他にも、新たな働き方、チームや組織のあり方、仕事と家庭の生活バランス、育児や介護のあり方など、「新しい普通」に向けた、生活の有り様を私たち一人ひとりがこれまでにないほど真剣に考え、向き合ってきた1年でもありました。

3. はじめから「オンライン開催」で

そのような状況で、経営情報学会は今年も年次大会を開きたいと思います。そして、今回はじめから「オンライン開催」で行うことに決めました。昨年の年次大会は、もともとは例年通りオフラインでの開催を予定していましたが、新型コロナ拡大を受けて、急遽オンライン開催に変更しました。主催校であった学習院大学、そして大会委員の方々のすばらしい対応で盛会に終わりました。今回もオフライン開催の可能性を最後まで残しつつ、何度も議論を重ねましたが、前述したような状況を鑑み、この時点で「オンライン開催」に踏み切りました。いみじくも「情報」を学会名に含む学会が、オンラインの活用には消極的であってはならないという思いも込めて、この度はこのような決断をしました。といっても、中身が革新的に新しいものに変わるというわけではないです。例年通りの部分もあります(後述の学会賞受賞講演など)。ただ、心構えとして、「オンライン開催」をはじめから前提にして企画し、運営の工夫をしていきたいと思っています。

開催日は、2021年6月13日(日)です。これからプログラムの詳細について、大会委員長である妹尾会長やその他関係する方々と相談しながら、徐々に詰めていく予定にしておりますが、昨年と同様、当日午後の開催を予定しております。ご自宅からでも、オフィスからでも、外出先や移動中でもモバイル経由でご参加頂けますので、ひとまずは皆さまのカレンダーをブロックしていただけたら幸いです。接続方法の詳細につきましては、追ってご案内致します。

4. 「多様性」「ウェルビーイング」「組織イノベーション」の交差点で

実は、お恥ずかしながら、この原稿の執筆時点において、大会テーマはまだ確定しておりません。これには少なからず理由がありまして、昨年からずっと議論を続けてはいるものの、昨今の状況を鑑みると、半年後の状況があまりに予測不可能で、どんなテーマであっても、その時の状況によっては完全に的外れなものになる危険性があります。逆に、その時点での世の中の空気感や情勢から完全に切り離されたテーマというのも、それはそれでお寒いものになるに違いありません。なので、この原稿執筆時点において、大会テーマは一旦「未定」とさせていただきます。

ところが、なんと今回、運営サイドとしては最大の幸運に恵まれました。例年年度大会の目玉は、学会賞（学会誌論文賞）受賞講演と、外部からの招待講演であります。今回これ以上とないほど完璧なタイミングでお話いただけるテーマを頂戴しました。

まず、2020年度の学会誌論文賞を受賞された熊田ふみ子・倉橋節也両先生に、受賞論文「多様性が組織の成果に及ぼす影響—フォールトラインによる考察—」(Vol. 28 No. 4, pp. 189–209)を元にご講演いただきます。この論文は、まさに現在の情勢下で最大のテーマのひとつでもある組織の「多様性」と「パフォーマンス」の関係について、エージェント・ベースモデルを用いたシミュレーションと企業の実態調査を用いて切り込んだ大変意欲的な内容です。今後も続くであろう「新しい普通」のなか、多様性と成果を両立させる組織をいかにしてデザインしていくべきか、いままさに多くの企業が抱えて

いる課題に正面から取り組んだ実証研究です。

もう一本の招待講演は、現在、プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会（通称、フリーランス協会）の代表理事をされている、平田麻莉さんにご登壇頂きます。平田さんは、このコロナ禍において、新しい働き方のムーブメントづくりや環境整備に奔走され、数々の政策提言をされたことから、日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2020」を昨年受賞されました。平田さんからは、既に講演テーマとして「拡張するワークプレイス、流動化する個人、ネットワーク化する組織」という大変刺激的な暫定タイトルもいただいております。

どちらのご講演も、今またとないタイミングでお話いただける大変重要なテーマだと思います。働き方や働く場所の「多様性」、働く一人ひとりの「ウェルビーイング」、そこから生まれる「組織イノベーション」。そして、それらすべてを支えるICTの活用。まさに、経営情報学会ならではの内容になることは間違いありません。

5. 新たな企画続々、乞うご期待

大会の詳細は、今後学会ウェブサイト等を通じて皆さまにご案内する予定です。前述の講演2本の他にも、さらなるプログラムを鋭意検討中です。なかでも、妹尾会長が就任以来積極的に推し進めてきた「萌芽研究支援」の一貫として、今回新たなかたちでのポスター発表の募集も行う予定です。ぜひご期待ください。それでは、オンラインで皆さまにお目にかかることを心より楽しみにしております。最後にもう一度、カレンダーのブロックお忘れなく。